

図 1 : 降圧薬の分類

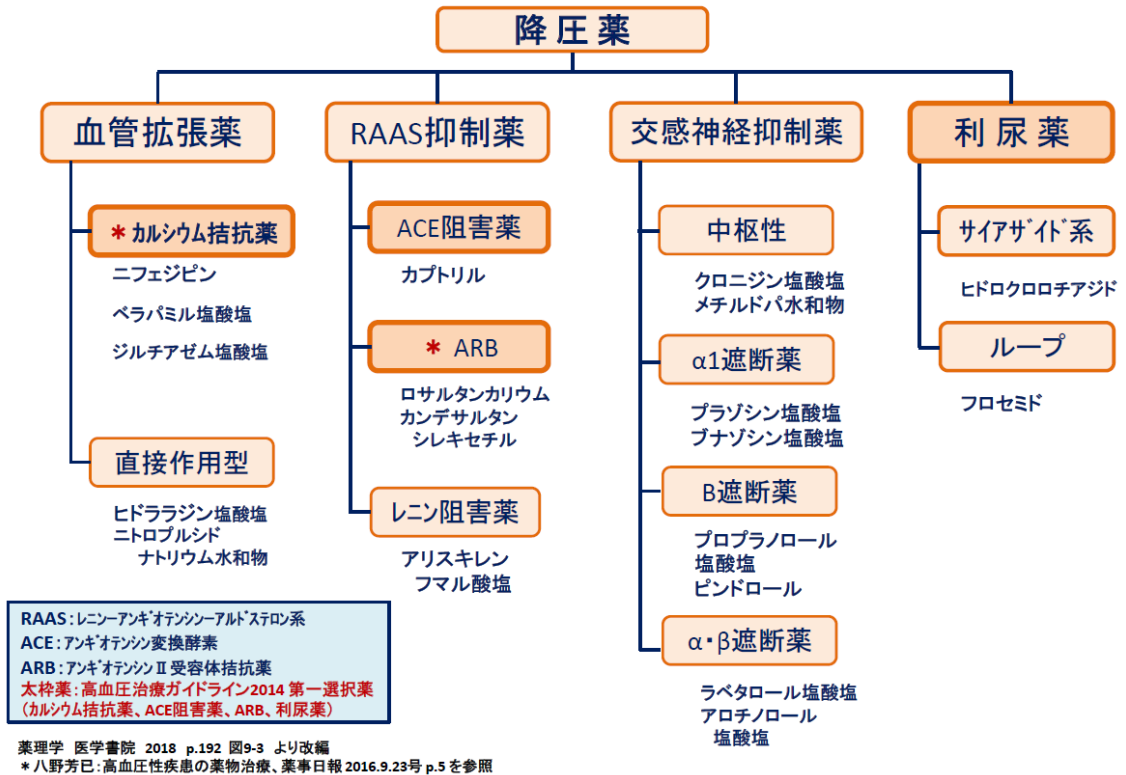


表 4 : 虚血性心疾患・うっ血性心疾患の病態、栄養療法の原則と実際

疾患	病態	栄養療法の原則	栄養療法の実際
虚血性 心疾患	狭心症: 冠状動脈の内腔が動脈硬化により	目的が、発症・再発の予防のため	a. エネルギーの制限 b. 脂質
	狭まって冠血流量が減少しておこる	に危険因子を除去することで、動脈	摂取のコントロール c. たんぱく
うっ血性 心不全	心筋梗塞: 動脈硬化の1つである粥状硬化	硬化を進めた危険因子(高血圧・	質の摂取 d. 食塩の制限 e.
	と血栓により閉塞されて冠血流が停止し、その	脂質異常症・糖尿病・高尿酸血	食物繊維の摂取
	先の心筋が壊死することによっておこる	症・肥満)に対する食事療法	
うっ血性 心不全	心臓のポンプ機能が低下して、組織の需要に	最も重要なのは、食塩制限であ	a. 食塩の制限 b. エネルギー
	みあう血流を送り出すことができなくなって、肺	る。食塩摂取が多いと循環血流量	の制限 c. たんぱく質の摂取
うっ血性 心不全	循環系や体循環系、諸臓器にうっ血が生じた	が増加し、心臓の負担を大きくし、	d. アルコールの制限
	状態をいう	また、重症の心不全では水分を厳	
		格に制限する場合もある	